



マホ
Story
爆発たギャルにちゃんぐりプレイしてもらおう



マホ
爆乳ギャルにちんぐりプレイしてもらおうStory

神母坂 綾

身長：191cm
3サイズ
バスト：129cm
ウエスト：69cm
ヒップ：121cm

ペニスサイズ
非勃起時：42cm
勃起時：94cm



愛須 春人

身長：159cm





玉ブラヤ
ペニスソックス
無しver

え〜とこんな感じかな？んしよと〜ウチの玉重くない？

だいじょーぶ？

う、うん平気。(うほお〜！神母坂さんのデカちゃんとデカ玉が目の前に…
すんごい迫力だ！)

そお？苦しくなったら言いなよお、ちん玉に圧迫されてぽっくりとか
洒落にならないし。



ちんぐい〜

気遣いありがとう。でもこれは僕が望んだことだから。

ほんとウチびっくりしたいし、こんな格好で初体験したいとかw

これ男の子的に屈辱的じゃない？○○君変わってるねw

僕と同じ学校に通ってる○校生にして所謂ギャル。

身長191cmの長身と94cmの巨大ペニス、そしてそれに見合う

これまた巨大な金玉を持つふたなりにして…僕の彼女です。

二週間前に彼女から熱烈に交際を申し込まれて付き合い始めました。

んじゃ挿れるね♡



高身長でしかもかわいいう神母坂さんとは絶対釣合わないんですが僕。

なんで自分と付き合いたいと思ったのか聴くと「可愛いから」だそうで…

男としては複雑な心境はあれど、長身巨根ふたなりっ娘というモロ好みの子を彼女にできるなんて夢のようです。彼女からしてみれば遊びなんだろうけど、暫くの間だけでもひとつの思いで作리ってことで神母坂さんとの

時間を満喫しようと思います。で、早くも最高の思い出が作れそうです。

はぁ〜い〇〇君童貞卒業おめでと〜。どお？初おま〇この感想は。

流石というか、やはりヤリなれてらっしゃる。ずっふりと根元まで

くわえ込まれた我が愚息。

神母坂さんの膣内温かくて気持ちいいよ。

もお〜付き合ってたんだから綾って呼んでよそんな他人行儀みたいなさ。

あ、うんわかったよ綾ちゃん。

ふふふ、よろしい。じゃあウチのおま〇〇で〇〇君のおちん…あっ…

コホン、ちっちゃくて可愛い短小お粗末ぢ〇ば気持ちよくしちゃうよ〜❤



思いもかけない一言に僕のお粗末さんは反応した模様。

「男性の中では」平均以上のサイズなんだけどね。相手が悪すぎますよ。眼前に雄雄しく勃つ綾ちゃんのそれは圧倒的で神々しささえ感じます。こんなのまざまざ魅せられたらなんともいえない気持ちに沸き起こってしまったようで…僕ってやっぱりMっ気あるみたい。

あ、今おち〇ぽおつきくなったっしょ、素ちゃん呼ばれて
興奮しちゃうわ恥ずい体位で喜ぶわ、マジどん引きだわー♥
もうどうにでもしてください。



えへへ、これだと主導権はウチにあるもんねえ。
あ、そーだ忘れてた。

綾ちゃんはこの体勢のまま後ろに手をのばしてなにか持ってきた。

ごめーんもちつと待っててね。すぐ着けるから。

でつか！実物初めて見た…ってか綾ちゃん今ゴムいるの？

ん？そーだよ直接ち○ぽ扱かなくてもおま○こ突かれてるとき
前立腺刺激されてどぴゅっちやうことがあるんだ。でかい分
出る量多いしウチ。

へえーそうなんだ。たしかにベッドが大変なことになりそうだ。

そーゆーこと♥



僕はぐくりと唾を飲んだ。こんだけでかいイチモツだ。

当然出る量も多いだろう…。

この大きさと僕の顔くらい…いや、綾ちゃんのおっぱいくらい

の水風船ができるとみた！

ほいつ完了！

僕は眼の前の剛直がピンクの膜に覆われるのを感動しながら見ていた。
で、彼女が着け終わった後ハツとなって気づいたアホな僕。



あ！そういえば僕ゴム着けてない！

え？だいじょーぶだよ、〇〇君のか弱い非力ち〇ぽじゃ弱っちい精子

しか出ないっしょ？中出ししても絶対妊娠しないから安心していいよー♥

うん！安心して生でできることを喜んでいいのか泣いていいのかわかんないや！

でも感じちゃうビクンビクン。

じやつ、動くからね♡

うおおお！動く！また気持ちよさが…半端ない！

綾ちゃんが上下に運動する度にはちきれんばかりの爆乳が、雄々しい爆根が！ばるんばるんと揺れまくっている。絶景かな絶景かな。



なんて呑気に考える余裕もないくらい早くも限界が…。

そろそろ限界でしょ？いいよいつでもイッて♡

うん！もうムリっす！

キテええ♡！



初中出し・完・了。オナニーの時よりもいっぱい射精したように思う。
彼女も前立腺が刺激されていったようで、巨大コンドームはでっかい
水風船を作っています。予想通り綾ちゃんのおっぱいはいくらにまで
膨らんでいる。これだけ巨大なベースを持つふたなりっ娘の射精量って
知らなかったから驚くばかりである……。



うーん、〇〇君早過ぎる。早漏は嫌われちゃうぞ？

んな？！そーゆー綾ちゃんだって射精してるじゃないか！

だっ
ぽんっ

すん
げん

え？あつ……あははは！違う、違うからこれえあはははは！

僕は彼女の言っていることがわからなかった。なにが違うノン？

笑っちゃってごめんごめん。これね、ザーメンじゃなくてカウパーなんだ。



あはははははははははは

え……？はい！？

ウチねカウパーの量多いんだあ。○○君がイクのと一緒に出たから勘違いしちゃったんだね。

MAJIDE!?

僕は言葉が出なかった……。射精したらコンドームどうなっちゃうのよ……。

うおッ!?急に締め付けが!

ふふふ...〇〇君たち〇ぽ膨らませたっしょ?ウチが射精するの
期待してるのかな?

はいその通りです。一時啞然としたものの我に返り、今はこの剛直が
火を噴く瞬間を是非見たいと思っている。やばいよやばいよ。心臓が
更に早鐘つてるよ。ブレイクハート(物理)しそっだよ!



意外とまだ硬いままだね。じゃあ今度はウチが気持ちよくなる番ってことで。
さっきより激しくいくからガンバってお粗末ち〇ぽ射精すんの耐えてね。

ぜ、善処します。

まだ……イったらダメ……だかね？イったらち○ぽ……引き千切っちゃうから……
ひい！そ、それは……ご勘・弁・を……！

あははは、じょーだん……だって。けど……まだ……我慢しててよ？
剛直から頭をずらして彼女の顔を見やる。さっきよりも激しいピストンで
綾ちゃんも感じているようだ。



お粗末ち○ぽと罵倒してるが、綾ちゃんま○こにとってはそんなことはない
ようだ。綾ちゃんと目が合う。にこりと微笑みを返されました。カワユス。
ふふふ……○○君の……必死に耐えてる顔……マジ可愛い♡

まってね……もちっでいきそう……だから！

あ♥イク♥イからね〇〇君

僕ももう我慢が……!

うんいいよ!一緒にいい♥

綾ちゃんの膣が今までとは比べ物にならない締め付けをしてきたその瞬間、僕のお粗末さんは決壊した。そして綾ちゃんも。



僕は再び射精した。しかもさつきよりも長い時間射精した。

射精し終わって快感から真っ白になりそうな頭が目の前で起こっていることを認識し始めて覚醒してきた。

ちよつ！？なんじゃこらー！！塊みたいに一気に黄ばんだ液体？が音を立てて肉柱の先端から射出されている！しかもぼびゅうって！
ぼびゅうって音するんですけどー？

射精の勢いで破けるんじゃないか？と心配になるくらいコンドームが形を変えてなんとかそれを受け止めています。



(すげー……ドバドバと精液が……いつまで射精てるんだろこれ。)

長いと思っていた自分の射精が終わってもまだ射精し続けている

綾ちゃんの剛直。僕は唯々口をあんぐり開けて見守っていました。

ふう…射精た射精た…やっぱ…〇〇君のち〇ぽやるじゃん。

子宮の中〇〇君のザーメンでいっぱいだよお♥

綾ちゃんコンドームの中ザーメンでいっぱい過ぎだよお

ウチもおま〇こすっごいイったからそれだけでこんなに射精ちやっ

ち〇ぽ抜かないでこんだけ射精るとかなかなかないんだからね。

んふふ♥〇〇君とウチ相性いいかもね♥

あ、はい。

はあ♥

はあ♥

どっパリ

我思考停止なう。自分の頭上に出現した肌色のでかいスライムがぷるぷると震えている。ふたなりって綾ちゃんくらいでかいペ〇スになるとその性能は

桁違いになることをよく理解しました。ふたなり恐ろしいでしょう。

さて、まだいけそうだね次いこーか？

ふあー！？こんだけ射精してまだ射精せるの！？

うんそーだよお、ふたなりって性欲強いから一発だけで納まらないって知ってると思ったんだけど？

いや、知ってるけどさー！この量射精してまだ残弾あるの！？

うーん…残弾ってゆーかキンタマがすごいスピードでザーメン作ってるんだよ。キンタマがザーメン作らなくなったらとりあえず終わりかな。



因みにウチ、最低でもこの量20回くらいは射精せるから…。

オウマイガ…僕は生きて帰れるのだろうか…。

えっと…疲れたんならいつてね？まだ時間たっぷりあるし♥

その気遣い痛み入ります…。